

北大阪・三島地区合同講習会

医療費削減目的の指導強化

前日の患者名簿通知、持参物増加など



北大阪地区と三島地区は合同で8日、エトレ豊

中で「強化される指導監査体制―大阪社会保険事務局から近畿厚生局へ」と題して講習会を実施し、38人が参加した。指導・監査業務が10月から近畿厚生局に移管され、関東信越と近畿厚生局には新たに「特別指導課」が設けられた。経済財政諮問会議も「個別指導の件数3倍化」などを打ち出しているが、この背景には医療費の抑制と同時に混合診療導入の地ならしがみられ、補綴物の保険外しや民間保険の歯科医療参入の条件の整備目的などがうかがえる。

府のやり方は手ぬるいといってきたこれらの政策が、本家アメリカでは大破たんをきたしている。この間私たちは、政府の政策で理不尽な不利益を被った。金バラをばし



指導・監査業務の強化の話を熱心に聞く参加者=8日、豊中市内



患者が来院した場面をロールプレイングする参加者=9日、保険医会館

200万以下の労働者が1千万人を超え、生活保護世帯が増えている時に、混合診療(選定療養)の拡大は保険給付を縮小させることにもつながり、断じて認めるわけにはいかないだろう。財源については、消費税の増税が議論されているが、消費税還付金(輸出戻し税)では、大企業上位10社だけで年間1兆円を超える額が還付されている。海外へ輸出する企業にだけ恩恵があり、例えば、自動車でも海外に輸出するときは還付される。実際の新規個別指導で

る。ところが大企業は、下請けの子会社やその下の採請けの会社から、消費税分以上にピンハネし、輸出戻し税と合わせ10パーセント以上の利益をあげている現状では、大企業優遇税制といわれても仕方ない。このような社会保障削減の下で、指導監査の強化体制が取られ、大阪も全国レベルの厳しさになるかもしれない。医療費通知と領収書の金額照合に伴う苦情、匿名の通報が増えている。

も、患者名簿は3週間前に通知されていたのに、ファクスで前日に通知されるようになり、さらに持参物の増加など巧妙化してきているだけに、協会の運動に期待したい。(吹田市・糠谷吉秀)

東西南・南部地区合同

院長、スタッフ対象講習会

就業規則、接遇・マナー上級編学ぶ

東西南部地区と南部地区は9日、院長講座「同じ賃金でもこんなに違って働く・腕の見せどころ雇用管理09年対応」と、スタッフ講座「洗練された接遇・マナー(上級編)」を開き、それぞれ15人・25人が参加した。桂好志院長講座の冒頭、南部地区の門奈文石責任者が挨拶し、「国が医療費を抑制するために実施した後期高齢者医療制度でお年寄りが差別医療に追いやられている。次期総選挙では、社会保障費を削減し米軍への思いやり予算へ回す政治を、根本から転換することを争点にしなければならぬ」と参加者に訴えた。今年3月1日からの「労働契約法」の施行や、

4月1日から「パートタイム労働法」の変更によって、雇用時の労働条件の文書提示や、パートタイム労働者が常勤へ転換する機会が整備などが各事業主に義務付けられた。桂氏は「この変更によって就業規則の重要性が高まっている」と指摘。保団連冊子『医療経営と雇用管理(07年版)』などを用いて、通勤手当の規定に盛り込む文言や、勤務シフト表を作成する際のルールづくり、時間外労働における割増賃金の計算方法など、就業規則作成や運用上のポイントについて解説した。同氏はまた、「ひな型丸写しの就業規則では各医院の実態にそぐわず、

逆にとつぱらのものにならない。現状に合わせ絶えず改編すべき」とし、経営理念や医院の歩みなども盛り込み、職員との共有財産になるような就業規則を作成することが重要と強調した。

今回、上級編として開いたスタッフ講座は、自己紹介や電話応対、患者が来院した場面を想定したロールプレイングを中心に接遇・マナーの留意点を学んだ。ビデオに収録したロールプレイングの模様を再生し、講師の西出氏が「体を動かさながら話す」と落ち着かない印象を与える「声が小さめ・低めの人は、意識的に大きく・高く発声をする」とアドバイスした。このほか、①横柄②せつ③内気④神経質⑤疑い深い―など患者タイプ別の接し方や、苦情への対処法などを説明した。参加者からは、「VTRで自分の気付きにくい悪い点・良い点が発見できて良かった」「講習の回数をもっと増やして定期的に行いてほしい」などの感想が寄せられ好評だった。

春夏秋冬

会員署名・府交渉

歯科医師の声を国会・府に

「新自由主義」「金融緩和」「小さな政府」「構造改革」「規制緩和」―などと様ざまに呼ばれた政策の結果が、今私たちに襲いかかってきている。小泉改革のもろで、アメリカの要求に沿って自公政府により押し進められ、民主党も競って政

めとする材料の乱高下や、年間2000億円の社会保障費圧縮によって年間700億円の歯科医療費が抑圧されるなど、枚挙にいとまがない。「効率化」や「自己責任」

換が迫られている。しかし、これは国政選挙を待つか他はない。社会保障抑制政策からの転換を

今の状況の中で、少しでも私たちにできることの一つは、政府に対して社会保障への対応を変えさせるための運動を広げていくことである。大きく状況がうねる中で、国民や歯科医師の声が国会

の声を届けるために、議員のみならずのご協力を「構造改革」の推進にあることが、橋下知事本人の口からも明らかになってきている。府民が大変なようなときこそ、自治体として府民の生活をどう守るかの責任が問われている。

悪では、先生方の署名の協力などもあり、ご存じのとおり今年には議会への提出が見送らざるを得なくなった。偽りの「大阪府は破産宣言」もうまく取り繕う

費助成の改組みである。4医療責任が問われている。協会は12月18日に、大阪府交渉を行う。府の社会保障や、医療・歯科医療を守り発展させるうえで、大切な交渉である。多くの先生方のご参加・ご協力をお願いしたい。

東大阪・八尾・柏原地区

健康まつりで歯科健診

「非常に助かる」と受診者の声



ていねいに口腔内をチェックする中西氏=16日、東大阪市内

東大阪・八尾・柏原地区は16日、金岡公園(東大阪市)で開かれた東大阪健康まつりで無料歯科健診を行い、58人(大人35人、子ども23人)が受診した。中西幹夫氏(東大阪市内)と歯科衛生士2人が出務した。同まつりは医療生協が主催で、定期健診・口腔ケアの大切さをアピールし、住民との繋がりをひろげ歯科医院への受診を促すために、毎年無料歯科健診を行っている。健診コーナーの他

にも、体脂肪や骨密度測定などが行われ、小雨の降る天候のもと、多数の参加者が列を作った。中西氏は受診者に対し、「早期発見・早期治療のためだけでなく、糖尿病・認知症などを予防するためにも口腔ケアが重要」と指摘し、歯科医院への受診を促した。

受診者の中には、「普段、歯科健診を受ける機会がないため、非常に助かる」と一家揃って受診した人や、子どものブラッシング方法について熱心に質問する母親の姿なども見られた。

歯科医院の売買ならさくらハウスへ

売却物件募集

内装付き歯科医院を探されている先生方から多数問い合わせがございまして、売却予定がございましたら、是非当社にお任せ頂けるようお願いいたします

開業場所(賃貸) 1500万円
大阪市西成区 家賃35万
チェア2台 パノラマ デンタル 駅近
居抜物件(賃貸) 4500万円
豊中市立花町 家賃30万 ガレージ5台有り
年収7000万円 チェア3台 パノラマ レントゲン

売買物件募集中

(有)さくらハウス 大阪府知事免許(02)043403号 担当:平石
大阪市城東区東中浜1-12-15 TEL 06-6170-8880 FAX 06-6170-8980